



国立中正大学

地球・環境科学部



Department of Earth and Environmental Sciences,
National Chung Cheng University

●学部学生 約6,700人 ●大学院生 約4,900人 ●教職員 約1,000人

ホームページ <https://www.ccu.edu.tw/>

交流協定締結年月日：2017年8月18日

主管学部：四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構



地震教育センター



講堂



地震教育センター

国際交流の特色

国立中正大学は、台湾南部の嘉義市の丘陵地に位置しています。台北駅からだと台湾高速鉄道（台湾新幹線）を使うと嘉義駅まで約1時間半で移動することが出来ます。現在の中正大学は29の学部プログラム、44のマスタープログラム、29のドクタープログラム、17のインサース大学大学院プログラムを提供する7つのカレッジで構成されています。また、起伏に富んだキャンパスは台湾の代表的な美しいキャンパスに認定されています。特に研究実績のあるのは法学、情報工学、認知言語学、地震研究、スポーツ科学などです。

交流実績（令和4年度～令和6年度）

年度	R4	R5	R6
受入・派遣			
学生の受入	0	0	0
学生の派遣	0	0	0
研究者・職員の受入	0	0	0
研究者・職員の派遣	1	2	2
オンライン交流参加者（本学）	11	0	0
オンライン交流参加者（相手機関）	2	0	0



中正大学での協定調印式

教員からの声

中正大学のキャンパスは広大で台湾で一番美しいキャンパスに選ばれたこともありました。近くには梅山断層が存在し、過去の甚大な被害を出しているため緊張感をもって地震研究を行っています。香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構と中正大学地球環境科学系との間で学術・研究交流の部局間協定を結び、減災科学研究を推進する研究拠点となることを目指しています。嘉義市は自然環境も良くパイナップルケーキや檜も有名で、名勝地阿里山への経由地でもあります。

2025年は、中正大学で減災科学の講義を行い、11月末には陳教授が来日しセミナーを開催するなど、防災・減災研究の交流を促進することにより、相互の減災レベル向上を図っています。

四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構
特任教授 金田義行